

令和5年度 決算報告



市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするために、市公式ホームページなど、さまざまな方法で予算の執行状況や決算を公表しています。今月は5年度の一般会計の決算の概要と、実施した主な事業をお知らせします。
狭山市の決算は、国の定める健全化判断比率により健全であることが示されています。

5年度 一般会計決算の概要

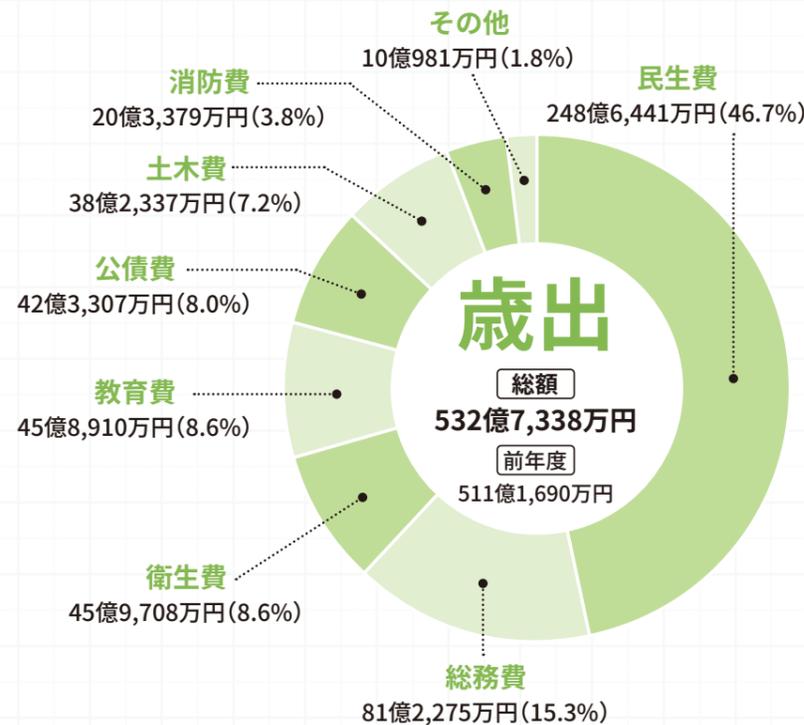
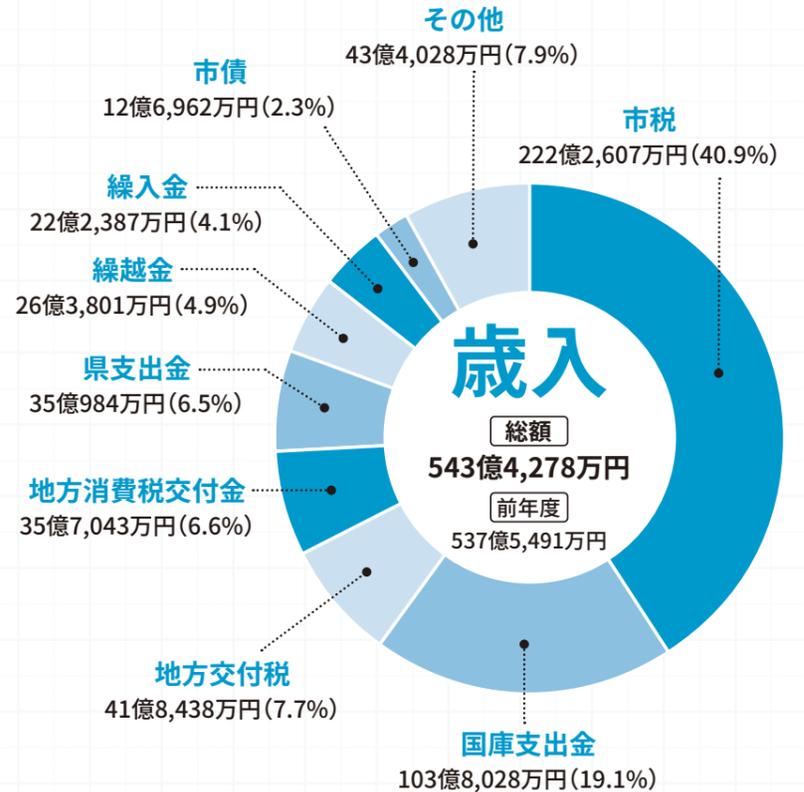
歳入は、地方税全体においては、個人所得の増加により個人市民税が増額となった他、新築家屋の増加で固定資産税が増額となったことなどにより、前年度比2.0%の増となりました。地方交付税においては、普通交付税の増額に伴い、17.8%の増となりました。地方債が臨時財政対策債の減額に伴い、24.4%の減となったものの、歳入全体としては1.1%の増となりました。

歳出は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、衛生費の新型コロナウイルス予防接種委託料が大幅な減額となった他、農林水産業費の事業者応援! 農業者経営継続支援金や、商工費の生活応援! さやまプレミアム付チケット負担金が減額となりました。一方で、総務費の教育施設整備基金積立金と公共施設整備基金積立金の増額、民生費の住民税非課税世帯支援給付金と子ども子育て応援金などの物価高騰重点支援事業の実施、教育費における入間野中学校校舎外壁等改修工事費などの増額などにより、歳出全体では4.2%の増となりました。

全体では、歳入総額543億4,278万円、歳出総額532億7,338万円となりました。歳入から歳出を差し引いた10億6,940万円を6年度に繰り越しました。

市の財政状況を公表します

内容 5年度決算と6年度上半期の予算、財産、基金の状況
期間 7年1月31日(金)まで
場所 市役所情報公開コーナー、地区センター、入曽地域交流センター、図書館(休館日を除く)



市制施行70周年記念連載⑧ 「狭山の歩み 70年を振り返る」

東京狭山線狭山トンネル開通
平成17年3月、東京狭山線の沢地区から上奥富地区までの開通に伴い、国道16号の下をくぐる市内初のトンネルとして延長403mの狭山トンネルが開通しました。開通に先立って行われたトンネルウォークには4,000人も市民が参加。立体交差としたことにより、交通の利便性と安全性が高まりました。



<市制施行70周年特別連載>
このコーナーでは市制施行70周年に際して、市の誕生から現在に至るまでの間に、狭山市で起こった出来事を当時の写真と一緒に紹介します。
問合せ 広報課へ ☎2935-3765

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？
正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。郵便はがきに、住所、氏名、電話番号、クイズの答え、感想を記入して広報課宛(住所は裏表紙に記載)にお送りいただくか、右の二次元コードから応募してください。 締め切り11月30日(土)



10月号の答え
8ページの「土家由岐雄の童句碑」の写真でした。



Contents



目次

今月の表紙



今月の表紙は狭山市制施行70周年記念式典の様子です。

- P3 【特集】令和5年度決算報告
- P6 【特集】市制施行70周年記念式典を挙行政に貢献された方々を表彰
- P8 小さなサインを見逃さないで STOP! 児童虐待
- P10 あなたの身近に「ヤングケアラー」はいませんか？、もぐもぐsayama
- P11 まちの今…これから、市長が走る
- P12 情報ガイド
- P20 ひと・まち・写真館、みんなの掲示板
- P22 さやまの昔ばなし

目で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)

※人口は10月1日現在()内は前月比。転出入等は1カ月間の累計

男	73,932人 (-40人)	転入等	471人
女	74,475人 (+15人)	転出等	391人
合計	148,407人 (-25人)	出生	52人
世帯	72,796世帯 (+41世帯)	死亡	157人

10月の火災・救急件数(狭山消防署)

※9月16日~10月15日の累計

火災件数	救急出動件数
1件(その他1件)	655件(搬送人員575人)

交通事故・振り込め詐欺件数(狭山警察署)

※1月1日~10月15日の累計(狭山市分)

発生数	人身事故	死者	物損事故	振り込め詐欺
2,708件	225件	1人	2,483件	24件

令和5年度 主な事業

テーマ1 若い世代を増やす

少子高齢化と人口減少対策に取り組み、女性の力を活かして、人口減少を克服する持続可能なまちづくりに取り組みました。



移住・定住促進事業 6,574万9千円

市内に居住する親世帯と同居・近居するために、住宅の取得や増改築をした子世帯や、市内で新築住宅を取得した40歳未満の方へ補助金を交付しました。この制度を利用し、182世帯548人が狭山市に転入しました。

子ども医療費支給事業 5億2,961万8千円

10月診療分から、支給対象年齢をこれまでの15歳年度末から18歳年度末までに拡充しました。

入曾地区子育て支援拠点施設等整備事業 1億2,451万4千円

保育所、児童館を中心に妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う「狭山市いりそ次世代支援センター(通称: I palette)」を1月にオープンしました。



テーマ2 まちと産業に活力を

産業を活性化し、駅周辺に賑わいを創出し、人と企業に選ばれるまちづくりに取り組みました。

入曾駅周辺整備事業 3億7,443万7千円

区画道路の築造工事やインターロッキングの敷設、污水管布設工事などを実施しました。また、東西自由通路と橋上駅舎整備の工事に着手しました。



狭山市駅加佐志線整備事業 3億6,612万7千円

入間川入曾線整備事業 1,786万5千円

事業用地の取得と物件補償、道路改良工事などを実施しました。

産業労働センター管理事業 8,383万1千円

就労支援を実施した他、狭山市ビジネスサポートセンター(Saya-Biz)が1,381件の相談を行いました。

テーマ3 楽しめる健康高齢社会を

子どもから高齢者まで健康でいられることが当たり前となるよう、安心、健康、便利なまちづくりに取り組みました。

成人保健事業 2億6,655万6千円

がんや生活習慣病の早期発見・早期治療のため各種がん検診や健康診査を実施しました。また、がん患者の経済的負担の軽減と療養生活の質を向上させるため、ウィッグや

胸部補整具などの購入費用を助成しました。

市民相談事業 707万2千円

市民の生活上の相談に応えるため、一般相談や弁護士、税理士などとの専門相談を実施しました。また、犯罪の被害に遭った方やその家族、遺族が再び平穏な生活を営むことができるよう支援するための「狭山市犯罪被害者等支援条例」を制定しました。

文化財保護事業 4,868万9千円

今宿遺跡復元住居等再整備工事を行いました。また、七曲井などの指定文化財の管理業務や民俗芸能の継承などに取り組む団体の活動を支援しました。



テーマ4 市政運営をみんなの力で

市民、団体、事業者、行政が協働し、新時代にふさわしい元気なまちづくりに取り組みました。

情報化推進事業 2,324万5千円

行政手続きのオンライン化を進めるため、電子申請サービスを見直しました。また、事務の効率化と業務の正確性の確保を目的に、RPA(繰り返し行う定型な入力作業などをパソコンが自動で行う新たな技術)やAI音声認識議事録作成システムの活用などを推進しました。

ふるさと納税事業 6,722万1千円

地元企業の育成と寄付件数の増加に向けて返礼品を拡充し、募集サイトの見直しを行いました。1年間の寄付件数は4,546件、寄付額は1億4,686万8千円となりました。

物価高騰への対策事業

住民税非課税世帯支援給付金 13億1,510万円

住民税均等割のみ課税世帯支援給付金 1億3,930万円

低所得者の子育て世帯給付金 7,070万円

特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に3万円と7万円を、住民税均等割のみ課税世帯に10万円をそれぞれ給付しました。また、これら給付金の受給世帯のうち、18歳以下の児童が属する世帯に対し、対象児童一人当たり5万円を給付しました。

子ども子育て応援金 5億7,210万円

児童手当受給世帯などに対し、対象児童一人当たり3万円を給付しました。

学校給食費補助金 478万5千円

保護者の負担を増やすことなく、栄養価や満足度の高い給食を提供するため、公立小・中学校の学校給食費に補助金を支出しました。

水道使用者負担軽減補助金 1億8,547万3千円

市民や事業者の経済的負担を軽減するため、8月から9月と1月から2月の計4カ月分の基本料金を免除しました。

省エネエアコン普及促進補助金 1,000万円

省エネ効率の高いエアコンの購入者に対し最大4万円を補助しました。

市民1人あたりに使われた費用 合計358,825円



民生費 167,475円

子どもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費



総務費 54,711円

市有財産の管理や一般事務などに要する経費



衛生費 30,964円

保健衛生やごみ処理などに要する経費



教育費 30,910円

学校教育や生涯学習に要する経費



公債費 28,512円

道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の支払いに要する経費



土木費 25,752円

道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費



消防費 13,699円

消防や災害対策に要する経費



その他 6,802円

市議会運営や農業振興に要する経費など